

## セブ・プログラムアンケートのお願い

この度はCECのプログラムにご参加いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙にご入力・記入のうえ、写真を数点CECまでメール添付にてご提出下さい。  
ご郵送の場合は、写真を同封のうえ、ご記入頂いたアンケートと共にご送付下さい。  
薄謝ではございますが、商品券をお送りさせていただきます。ご協力をお願いいたします。  
(パソコン入力をご希望の方はお知らせ下さい。メール添付にてこの用紙をお送りいたします。)

参加期間：2013年6月24日～7月10日 約3週間

参加動機：ボランティアを通して、フィリピンの教育がどのようなものなのかを自分の肌で感じてみたいと思ったからです。

### ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

フランシス幼稚園 デイケアセンター1と2

具体的な活動内容とスケジュールを教えてください。時間に関してはおおよそで結構です。

具体的な活動内容：先生のアシスタントとして教室に入る。子どもたちが勉強中にわからないことがあればフォローしたり、配布物を渡したり、ノートをチェックしたりする。  
スケジュールは、月曜日から金曜日まで、毎日8時～11時半と13時～16時半までです。

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

私は、少しでもボランティア活動を充実させたいと思い、この活動をする前に6週間セブの語学学校で英語の勉強をしました。この6週間のおかげで、少し英語を理解することができ、ボランティア先の先生とのコミュニケーションをとることができました。しかし、子どもたちはセブワーノを話すことができても、英語を話しません。だから、子どもたちから話しかけられても理解することができず、とても悔しい思いをしました。

私が活動していたセンターの子どもたちは貧困層と呼ばれる立場にいました。貧困層にいる家族はなかなか子どもに対して愛情を注いであげられる時間がなかったり、子育ての方法がわからなくて暴力をふるってしまったりしていました。これらの理由で、子どもたちが先生の話すことを無視して暴れることが多々ありました。団体行動をとることができず、ひとりの先生だけで数十人の子どもたちの面倒をみるのは難しいと感じました。  
勉強を始める前に必ずカトリックのお祈りを音楽にあわせて練習したり、ワークショップの内容がアダムとイヴの話だったり宗教精神を大事にしていることが非常にわかって驚きました。日本ではあまり宗教精神を先生が教えるということはないので、カルチャーショックを受けました。そのほかにも、さまざまな日本文化との違いがあり、おもしろかったです。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

私は京都出身ということで、京都の写真を用意して行きました。海外の写真を見せたら喜ぶだろうなと思ったからです。でも、写真を見せたときの子どもたちの反応は薄かったです。子どもたちの年齢が3歳～5歳で、少し小さすぎたのかなと思いました。ボランティア先とは違う場所で、15歳くらいの子どもたちや大人に見せるとすごく反応が良かったです。

#### 生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

私は、最初に泊まっていたホテルの相性が合わず、2週目からは別のホテルに移動しました。2週目以降のホテルはすごく快適でした。ホテルのカウンタースタッフや清掃員、ガードマンなど関係者さん全員と仲良くなったほどです。ピザパーティーをしたり、スタッフさんの誕生日パーティーをしたり、ガードマンの家に遊びに行ったりしました。

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段（タクシーでの所要時間・料金など）を教えてください。

最初に滞在していたホテルはボランティア先とある程度近いので、歩いていきました。所要時間は20分ほどです。2週目以降に滞在していたホテルは、行きはタクシー（所要時間10分・200円）で、帰りは歩いて帰りました。歩いて帰ると30分ほどです。

食事はどのようにしましたか、料金は？

朝ご飯は、ホテルで食べました。パン2枚と目玉焼きとコーヒーです。料金は宿泊費用に含まれています。（ECPホテル）

昼ご飯は、現地コーディネーターと一緒に掛けてストリートレストランに行きました。料金は300円～400円くらいです。

晩ご飯は、現地コーディネーターとレストランで食べる（1000円くらい）か、ホテルスタッフとピザパーティーをする（1000円くらい）か、友達の家へ食べに行く（800円くらい）か、ファーストフード店で食べる（400円くらい）かです。

滞在した地域でお勧めの場所は？（お店・レストラン・ショッピングモールなど）

私がおすすめする場所は、ホテルのロビーです。何の用事なくてもロビーにいと、ホテル滞在者さんやホテルスタッフさん、地域の方々と友達になれます。海外で友達をつくりたいと思う人には是非おすすめします。

ショッピングや映画を楽しみたいのであれば、SMモールやアヤラカントリーモール、ガイサノカントリーモールという3つの大型ショッピングセンターをおすすめします。イメージはイオンモールの超巨大版です。

また、マッサージもおすすめします。オイルマッサージを1時間500円で楽しめます。クオリティーもかなり良いので、フィリピンで行かないと大損します。私は週末にマッサージに行くというのを楽しみのひとつとして、生活していました。

コーディネーターのセッションに関して：(○で囲んでください)：

○非常に良かった      良かった      普通      良くなかった      悪い

**感想：**

コーディネーターさんは本当に良い人です。コーディネーターに会いたくて来年セブを訪れようと計画しているほどです。現地のコーディネーターだからこそ、現地のお店に詳しくあったり、現地の友達を増やす手助けをしてくれたり、さまざまなメリットがあります。デメリットは・・・思い浮かばないですね。それくらい私にとっては、コーディネーターとの波長があっていました。私が病院に行ったときもすぐにかけてくれたり、ホテルを変えたいと言ったら次の日には変えてくれたりと対応も早かったです。

今後このプログラムに参加する人たちの為に：

持参したほうが良いもの（生活のうえで、又ボランティア活動のために）

パスポートと海外保険と風邪薬と電子辞書とセブの地図とヒモと赤ペンです。その他のものは安く手に入ります。忘れたものがあったとしても心配する必要はありません。ヒモがあるとなかなか便利です。

もしお土産をもっていくなら、消しゴム付の鉛筆が便利です。消しゴムと鉛筆がわかれているものではなくて、一緒になっているタイプです。

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)  
大声を出さないこと、叩くようなアクションを起こさないこと、ボランティア先でかかわるすべての人の名前をすぐに覚えること、暴れん坊の子どもたちを抱っこしてあげることです。フィリピンに行って、子どもを抱っこすることの大切さを自分の肌で感じてください。

**衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと**

衛生面については、既にご存知だと思いますので、私から言う必要はないでしょう。ただ、トイレットペーパーは必ず便器に流してしまいます。誰もが一度は必ずやります。トイレットペーパーは絶対に流してはいけません。1枚でも流すと詰まります。素直に、申し出ましょう。「すいません、トイレットペーパーを流してしまいました。」と。

あとは、お菓子やその他の食料を毎回買うのがめんどくさいからといって、買いためしないでください。袋が開いてなくても、どこからかアリがきて穴をあけて食べています。もし、アリの大群を見たい！という強い願望があるのであれば、どうぞ試してください。

私は、アリの大群に気付かず、買いためしていたパンを食べて、ひたすら嘔吐し続けた記憶があります。

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。  
このボランティアをさせていただききっかけとなった池頭さんをはじめ、手続きをしてくださった CEC のみなさん、現地コーディネーターさんに対して、私は本当に感謝しており、ありがたい気持ちでいっぱいです。アンケート中にもいくつか書かせていただきましたが、「フィリピンに行ったからこそ」、「ボランティアをしたからこそ」わかったことがたくさんありました。

私のボランティア生活は、良い意味で忙しくてひたすら時間がほしいと言い続けていました。フィリピンを出国する際には、たくさんの人に見送ってもらい、別れを惜しみながら出国しました。出国してからも毎日のようにいろんな友達からフェイスブックやスカイプなどを通して連絡がきます。ということで、来年の9月にまたセブの友達たちに会いに行きます。セブは私の第二の故郷になりましたよ。

関係者のみなさんには本当にお世話になりました。ありがとうございました！

ご協力ありがとうございました。

ご参加時年齢： 20 歳代前半

性別： 男性 (該当箇所に○をお願いします。)

